

1 格助詞 …おもに名詞の後について、その文節と他の文節の関係を示す働き。

【が・の・に・を・へ・や・と・から・より・で】(オ・ニ・ガ・ト・ヨリ・デ・カラ・ノ・ヘ・ヤ)

※格助詞は「鬼が戸より出、空の部屋。」と覚える。

例 ・虫が鳴く。(主語) ・海が見たい。(対象)

・母の本。(連体修飾語) ・風鈴の鳴る音。(主語) ・遊ぶのが好き。(体言の代用)

・村にいる。(場所) ・妹に字を教える。(相手) ・虫採りに行く。(目的)

・テレビを見る。(対象) ・右へ曲がる。(方向) ・犬や猫。(並立)

・弟と遊んだ。(相手) ・「お帰り。」と言う。(引用) ・冬も終わりとなる。(結果)

・上から落ちた。(起点) ・木から紙ができる。(材料)

・父より背が高い。(比較) ・これより始めます。(起点)

・海で泳ぐ。(場所) ・車で向かう。(手段) ・暑さで倒れる。(理由)

2 接続助詞 …活用語(用言・助動詞)の後について、前後の関係を示す働き。

【ば・と・て(で)・が・ても(でも)・けれど・のに・ので・ながら等】

例 ・練習すれば、腕が上がる。 練習すると、腕が上がる。 …… (仮定)

・黒くて美しい彼女の髪の毛。 …… (並立)

・探したが、なかった。 言わないけれど、知っている。 …… (逆接)

・待っても、無駄だ。 急いなのに、間に合わなかった。 …… (理由)

・昨夜は徹夜をしたので、今はとても眠い。 …… (動作の並行)

・テレビを見ながらご飯を食べるのは、よくない。 …… (動作の並行)

一 次の各文の ―線部の助詞の種類(A)と意味(B)を、それぞれ後から選び、記号で書きなさい。

① 決して諦めない^{あきら}と心に誓^{ちか}う。 A ① B エ ② 年賀状を筆で書く。 A ① B ウ

引用の格助詞の前は「」でくくれる。

③ 車で行けば、早く着ける。 A ② B イ ④ 花より団子。 A ① B オ

⑤ 牛肉や豚肉の料理。 A ① B ア ⑥ 一人で勉強をする。 A ① B カ

⑦ 電話したのに、誰もでない。 A ② B キ ⑧ 走ったので疲れた。 A ② B ク

A ① 格助詞 ② 接続助詞

B 【ア並立 イ仮定 ウ手段 エ引用 オ比較 カ対象 キ逆接 ク理由】

二 次の文の ―線部「が」とはたらきが同じものを後のア〜エより一つ選び、記号に○を書きなさい。

・あの白と黒のストライプのTシャツが欲しい。 対象・格助詞

ア 牛乳屋さんが配達に来た。 主語・格助詞
イ サイフを忘れた。が、定期入れは持っていた。 接続助詞

ウ オレンジジュースが飲みたい。 逆接・接続助詞
エ 失敗したが、またやり直そうと思う。

